



匠の技！第1施設団の春季東富士演習場定期整備を研修

自衛隊東京地方協力本部五反田募集案内所（所長 野澤2陸尉）は、令和6年4月16日、第1施設団（団長 安田陸将補）の協力を得て、協力団体である関東防衛懇話会（会長 小山 猛氏）及び品川区自衛隊家族会（会長 岩本 佳子氏）に対して令和6年度春季東富士演習場定期整備の研修を実施した。演習場定期整備は年2回春と秋に行われ、演習場の機能の維持・向上、長期安定使用に寄与することを目的とし、隊員一人一人が「我々の道場は自らの手で」という気概をもって整備を実施しており、陸上自衛隊において必要不可欠かつ重要な任務である。

当日は、笠雲の霊峰富士が眺望できる晴天に恵まれ、団長と両会長との和やかな懇談から始まり、第3科長による指揮所でのブリーフィングを受けた後、炊事所、整備所、隊員の宿営地及び団担当地域の整備活動等を見学した。宿営地及び整備地域では東京地本から入隊した隊員と懇談した後、滝ヶ原駐屯地広報資料館を見学する等充実した内容の研修であった。また、昼食では隊員が実際に食堂として使用している天幕で喫食を体験し、大いに舌鼓を打った。

参加者からは、「施設科部隊の匠の技を見ることができた。」「現場で隊員と接し、清々しいその姿に元気をもらえた。」「全てにおいて管理が行き届いており、組織力の高さを感じた。」などの感想が聞かれた。

五反田募集案内所は、今後も協力団体と部隊との円滑な調整を図り、自衛隊に対する更なる理解を得るために有意義な見学・研修を実施していくとしている。



春の花と音楽に誘われて 陸・海・空自衛隊が集うみどりのフィールドコンサート

自衛隊東京地方協力本部立川出張所（所長 星2陸尉）は4月29日、東京都立川市国営昭和記念公園ふれあい広場において、みどりのフィールドコンサートに参加した。

みどりのフィールドコンサートは、航空自衛隊航空中央音楽隊（府中基地）による恒例のイベントで、コンサートに併せ、海上自衛隊（横須賀基地）及び陸上自衛隊（練馬 第一後方支援連隊）が、様々な工夫を凝らした装飾品展示等で会場を大いに盛り上げた。公園には、ネモフィラなどの春の花を愛でる入場者も多く訪れていて、演奏開始が近づくとふれあい広場は多くの観客で埋め尽くされた。

海上自衛隊ブースは、南極の氷に南極の石、記念缶バッチャ、海自カレーの紹介、水中処分艇などを展示し、子供から大人まで楽しんでた。

陸上自衛隊ブースは、「自衛官を体験してみよう」と73式小型トラックに偽装網をかけた後、宿営用天幕の中に、簡易ベットや携行食、ランタン等を吊してリアルな自衛官の訓練の1コマを演出し、天幕の中を覗く人だかりが絶えなかった。

立川出張所ブースでは、能登半島地震に係る災害派遣活動を紹介し、いまでも被災者・被災地のニーズを踏まえ、必要な規模をもって給水・入浴支援等の震災対応にあたってていることを伝えた。

来場者からは「今日の音楽と歌に感動しました！また、陸上と海上自衛隊の皆さんからもいろいろなお話が聞けて楽しかったです！」という声が聞かれた。

立川出張所は、今後も地域のイベントの場も活用しながら、自衛隊の魅力発信を継続し募集業務に邁進していくとしている。

